



在日日本関東済州道民協会ニュース

[在日日本関東済州道民協会：東京都文京区湯島 3-19-5 TEL 03 (3832) 4411 発行人：夫奉秋 編集人：李始禹]

2017年家族同伴新年会・成人式開催

毎年恒例の家族同伴新年会・成人式が1月21日(土)にホテル椿山荘東京で開催され、ご来賓を含め450名余りの参加があり、盛大に開催されました。

元 喜龍道知事は、公務のために御欠席となりましたが、済州特別自治道からは全 聖泰行政副知事、申 寛弘道議会議長、李 碩文教育監、許 香珍済州大学総長をはじめ、済州の各関連機関より37名の参加がありました。また国内からは、民団中央本部 韓 在銀監察委員長、金 成日副団長、民団東京本部 金 秀吉団長をはじめ、各関連団体長並びに多くの方にご列席頂くことができました。



式典は夫 奉秋会長の新年挨拶に始まり、全 聖泰行政副知事、呉 公太 (副会長 李 相訓) 民団中央本部団長(代読：金 成日副団長)、並びに各関連団体のご来賓の方よりご祝辞を賜りました。そして、済州特別自治道より、済州道民協会の事業に功労されたとして、姜 丞宝監査と宋 信彦監査に表彰牌が贈られました。また、在日済州婦人会と、済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われました。また、済州道庁とMBCと一緒に企画し、制作した「誇らしい在日済州人のDVDと本」の伝達式が行われ、済州MBC 呉 承澈報道制作局長より、夫 奉秋会長に手渡されました。成人式では、金 樹里嬢・金 敏章君・鄭 平蔵君・秦 加純嬢・高 葵里子嬢・金 大河君の6名が新成人として参加され、夫 奉秋会長からの祝辞と共に、当協会並びに済州道各機関より数多くの記念品が贈呈されました。新成人を代表して、秦 加純嬢が将来への抱負を答辞として述べました。2部の懇親会は、高 隆博常任顧問の乾杯で始まり、金 起先さんと高 マサミさんのステージが披露されました。歓談後に行われた青年部主導の恒例のビンゴゲームと大抽選会では、ラマダプラザ済州ホテル様よりホテル宿泊券が、大韓航空・エアプサン様より済州・釜山行きの往復航空券など、皆様から数多くの豪華景品をご提供いただき、大人も子供も楽しむことができました。

来年も1月27日(土)に上野精養軒にて開催いたします。協会一同励んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



《役員一同新年挨拶》



《夫奉秋会長挨拶》



《全副知事と受賞者》



《プレゼント交換を終えた各機関長と婦人会役員》



《新成人と李碩文教育監》



《答辞を述べている秦加純嬢》



《あげる人も当たる人も喜ぶ抽選会》



鄭平普顧問 2016年度済州特別自治道文化賞受賞

2016年済州特別自治道文化賞授賞式が去る12月16日午前10時より、済州道文芸会館大劇場にて開催され、国外在外道民部門において当協会の鄭平普顧問が文化賞を受賞されました。第55回目を迎えた今年受賞者は社会各界推薦を通じて申し込まれた候補者を12月3日都内分野別

専門家審査委員 35 人が審査し選ばれました。

在日済州人として初めて在日本韓国民団東京地方本部 団長を歴任した故 鄭興守相談役のご長男である鄭 平普顧問は、当協会には 1986 年理事として入会し、監査、副会長を経て第 25 代会長を歴任し、現在顧問として在任中です。会長在任中は「第 2 回関東・関西役員懇親会」や「在京道民会役員合同懇親会」を済州道にて開催し、在日済州人の和合・団結および在京道民会の地位向上に貢献されました。同胞社会では顧問の勤勉さと実行力が認められ、2004 年在日済州人として初めて在日本韓国民団埼玉県地方本部団長を 2 期歴任され、民団財政の再整備と基盤確立のため、組織改編に力を注がれました。さらに、故郷においては 1979 年出身地西帰浦市吐坪里会館建立基金をはじめ、村役場の備品村役場に備品と図書館に溶接関連専門書籍などを寄贈され、ワールドカップ競技場、みかん研究所、吐坪里発展基金、西帰浦市教育発展基金を寄託するなど出身地の福祉と後世教育発展にも大きく貢献されました。このような功績が認められ済州道より功労賞、民団中央本部より感謝状、韓国政府より国民勲章 石榴章を受章されました。

1962 年制定された文化賞は 2015 年まで国内外道民 228 人と 5 団体など合計 233 人に授与され、済州特別自治道では最も栄誉のある賞と評価されています。心よりお祝い申し上げます。



第30回夏季郷土学校

第4回在日済州人次世代韓国語講座及び歴史・文化体験事業開催



2016 年 8 月 8 日より 12 日まで「第 30 回夏季郷土学校」が済州特別自治道人材開発院で開催されました。当協会より学生 4 名が参加しました。また、8 日から 17 日まで「第 4 回在日済州人次世代韓国語講座及び歴史・文化体験事業」が済州観光大学で開催されました。それに先立ち、引率役員として参加した高 隆博常任顧問、夫 奉秋会長、高 哲明・洪 龍次郎・李 相訓副会長 5 名は、午後 2 時から済州道庁にて権 永洙行政副知事、金 方勲政務副知事、道議会にて申 寛弘議長を表敬訪問しました。午後 5 時から「第 4 回在日済州人次世代韓国語講座及び歴史・文

化体験事業」入校式に夫 奉秋会長、高 哲明副会長が参加しました。「第30回 夏季郷土学校」入校式には高 隆博常任顧問、洪 龍次郎・李 相訓副会長が参加し、学生たちに応援の挨拶をしました。学生たちは、在日済州人センターの見学や 4・3 平和公園の参拝をはじめ済州道各地の名所旧跡の見学をしました。渋柿染目の体験や乗馬体験・イカダの体験など、ふるさと済州道を精いっぱい楽しみました。

— 副会長 高 哲明 —



祖先の故郷、済州でルーツを探す時間

2002 年韓日サッカーワールドカップ大会以来（当時 5 歳）14 年ぶりの済州島訪問となりました。済州島を訪問したのが 14 年前ということもあり、もう一度訪問してみたいという気持ちがありました。すると、祖父の方から済州道での次世代育成プログラミングに参加してみないかといった話を頂き、迷う事無く参加することに決めました。当初、次世代育成プログラミングの内容について何も知らない状態で、日本からのみで構成された団体で行くのかと思っていましたが、到着してみると本土から来た韓国人（学生）が多く、韓国語を話せず読めない自分にとっては友達が作れるかが一番心配で戸惑いも多々ありました。しかし、皆とても優しく戸惑いを見せる自分にも積極的に話しかけて下さる方々が多く、お互いに伝わらない事も少しばかりありましたが、一生懸命私に伝えようとして下さいました。そのお陰で、当初あった戸惑いも無くなり楽しい寮生活を送ることが出来ました。この次世代育成プロジェクトでは、済州島の悲慘な過去の歴史から独自の文化や風習について学ぶことが出来ました。

その他にも、エコランドや乗馬体験、綺麗な海や自然に囲まれながら行った済州伝統の筏（いかだ）、テウ体験を楽しむことが出来ました。この体験を通し、同じルーツを持った人達との輪が広がり、更には済州島の素晴らしさを実感し、済州島のルーツを持てたことに誇りを持つことが出来ました。今後も、このような事業に若い世代が参加して韓国済州島の素晴らしさを体験し、在日の済州道のルーツを持つ人たちだけでなく、海外に住む同じルーツを持つ人達とも交流し輪を世界に広げて欲しいと思います。

（参加学生 金 敏章）



済州道にて親睦旅行会開催



2016年度の親睦旅行会が、11月11日（金）～13日（日）の2泊3日、済州道で開催され、顧問・役員・理事・会員・婦人会・青年部など、総勢33名が参加されました。

初日は空港到着後、昼食に肉グクスとトンベ肉を食べた後、免税店でショッピングを楽しみました。夜には、ラマダプラザ済州ホテルからも近い海沿いの刺身屋にて、金 方勲政務副知事をはじめとする13名の済州道の各関係機関の方を招いて、夕食をとりました。

二日目は、朝食にアワビのお粥を食べた後、韓国の最南端に位置する馬羅島へ船で渡りました。人口100人ほどの小さな島ですが、大海原を眺める絶景スポットや有名な灯台を見たり、島で捕れる天然のアワビやサザエを食べる協会員もいました。また船で松岳山へ行き、昼食に赤アマダイ焼きやサバ焼きを食べましたが、お近く住まれている李 京旻組織次長のお父様より、歯ごたえがあり、とても美味しい捕れたてのアオリイカを差し入れして頂きました。大変に感謝申し上げます。その後、推定樹齢800年にも達する古木や、カヤの樹2800本以上が群生するビジャ林を観光しました。敷地内の遊歩道を散策し、自然を満喫しながらリフレッシュすることができました。夜には、済州ならではの黒豚肉を食べながら、協会員同士の交流を深めました。

最終日はホテルで朝食後、自由行動のため、里帰りされる方や、お買い物をされたりと、各々が楽しみ日本へ戻りました。2年ぶりに、済州道で親睦旅行を行うことができましたが、株式会社済京をはじめ皆様のご協力により、非常に思い出に残る旅行になりました。今後も、楽しく満足して頂けるような親睦旅行を企画していきたいと思っておりますので、是非、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

— 副会長 李 相訓 —



馬羅島にて



グローバル濟州商工人リーダーシップフォーラム開催

2016年9月25日から2泊3日間に亘り濟州商工会議所主催で「グローバル濟州商工人リーダーシップフォーラム」が濟州ロッテシティホテルにて開催され、高 隆博常任顧問、私、康 用根事業部長、金 聖宗渉外次長が参加してまいりました。

道の内外、大勢の商工人が集まり、有益な集まりでした。その時、発表した文を日本語に訳して掲載します。

こんにちは！（アンニョンハセヨ）

私は在日本関東濟州道民協会会長職を引き受けている「夫 奉秋」と申します。本日、「2016年グローバル濟州商工人リーダーシップフォーラム」開催につき、会長並びに関係役員のみな様、公私多忙の中、道内外 来賓の皆さま、本日この場に参席している皆様、感謝申し上げます。

去る8月25日に濟州商工会議所の金 大亨会長様を含めた6人が私たち事務所を尋ねてくれてお互いの意見交換と懇談会を通じて親しくなり、この場が親しみを感じ、幸せでございます。私は商工人ではなく商売に対して何も分からない、人の心と身を扱うケアマネジャーで宗教家でございますので。多くの了解と聴従をお願いします。



今日のテーマで「今後のグローバル濟州商工人フォーラムがどのように発展したら良いか」？

それは一言で、繁栄経済から幸せ経済に切り替えることを論じればと思います。

そうするためには道民の全員が世界的な市民として視野と信頼性の構築が必要で濟州人が世界に伸び進むためには言語教育に支援といっしょに濟州内外道民皆が世界の中の濟州人を自覚して、濟州共同体、世界共同体の一員として相互疎通と平和と幸せを成して進む自覚だと思っています。

2番目の「濟州発展のために濟州商工人がどんな役目をしなければならないか」？

ナポレオン将軍は人類の未来は人間の想像力とビジョンによるという有名な言葉を残しています。濟州商工人は経済的想像力があって、全道民と一緒に眺めて進むビジョンを提示すること引き継ぐ能力がなければならないと思います。今世界は日々激しい無限な競争の知識、技術社会で進展しているし、時々刻々新しい手段とタレントが溢れている、いつよりも未来を見通す眼目と未来を準備する努力がなければ濟州の希望と発展はないと思います。

2016年ダボス世界経済フォーラムの報告書は、2020年まで主要15ヶ国先進国において、ロボット産業の発展により、700万の既存働き口が消えて、200万の新しい働き口ができると予測しています。いま世界は、人間より遥かな知能を持った機械が人の感情までを訴える時代が目の前に達しています。

株式会社 濟 京

代表取締役 吳 賛 益

弊社は協会会員の、会員による、
会員の為の会社です。
共に歩んでまいります。

東京都文京区湯島 3-19-5
TEL03-5688-0684 FAX03-3835-7756

株式会社 美 浜

東京都知事免許(8)第44307号

代表取締役 吳 賛 益

〒110-0016

東京都台東区台東 3-16-5
ミハマビル 10F

TEL03 (3835) 7755
FAX03 (3835) 7756
<http://www.mihama.info>

ホテル サン・ロイヤルグループ

サン・ロイヤル 小 山

取締役社長 李 相 訓

本社 〒101-0025 東京都千代田区神田
佐久間町3-29 2階
TEL 03-3851-7017 FAX 03-3851-5894

昔には何が必要ならば外に出かけお金を支払って得ました。ところで今はパソコンの前に座って日本に住む私はアマゾンに入って必要な品物を電子マネーで購入すれば すぐ届けてくれます。

これからはトロンが流通手段になってもっと迅速に送れると言います。

それではこれから貨幣はどのように変化になるか？電子マネーが仮想通貨に変わらないか想像して見ます。済州商工人は未来に対する経済的 想像力を持ち、全道民が真の幸せな生活ができるようを眺めて進むビジョンを提示すること引き継ぐ能力がなければならないと思います。

3番目は、「済州発展のための意見提示」？

済州発展と言われますと関東済州道民協会の前身在日本済州開発協会を思い起します。

1961年2月25日設立趣旨書には先輩がこんなに言葉を残しています。簡単な訳です。

「……済州開発協会は在日済州道民が郷土開発の一翼を補うことで道民の文化的生活を向上させる願いの愛郷心より出発した。郷土の楽園化はただ郷土出身者の切実な要望であり自然的欲求である。……」

今日済州が特別自治道ながら国際自由都市と同時に世界平和の島、ユネスコ世界7大自然景観と認められた誇らしい故郷であって世界人の視線を集中的に受けている済州です。しかし済州の未来ビジョンにはあくまでも道民全体の幸せがまずならなければならないと思います。

そうするためには「元 喜龍」道知事が提示する「済州の未来ビジョン」に内外道民皆が賛同し、団結し進む時、スピードある済州発展と済州人の真な幸せを勝ち取ることができると確信します、長い間の時間聴従して下さったのに対して感謝いたします。



 株式会社 漢 拏

代表取締役 康 用 根

〒123-0684 東京都足立区鹿浜 3-31-3
TEL 03-3855-4129(代) FAX 03-3855-4130
<http://www.halla.jp>

大清グループ



航空・海上貨物代理店業 輸出入貿易業
通関業 ホテル事業 不動産賃貸業

代表 黄 璟浩
Hwang Kyongho

〒286-0033 千葉県成田市花崎町 818-1
TEL 0476-23-7055 FAX 0476-23-7056
www.aisei-express.co.jp www.mercurehotelnarita.com

ビルメンテナンス業(設備管理、清掃全般)

(株)キャリーマインド

代表取締役 梁 日 勲

〒111-0036 東京都台東区松が谷1-1-1-6F
TEL 03-6802-6790 FAX 03-6802-6791
E-mail: yanagawa@carry-mind.co.jp
<http://www.carry-mind.co.jp>

婦人会だより

「第20回定期総会と送年会」は2016年12月3日（土）ホテルパークサイドに於いて開催されました。関東済州道民協会から夫 奉秋会長をはじめ、鄭 平普顧問、役員の方々にもご参席頂きまして、正に在日済州婦人会が初代韓 道淑会長から20周年という記念すべき定期総会となりました。婦人会から紅白のお饅頭を配り、出席された皆さんと共に祝いを致しました。金 貞子顧問が議長となり、活動報告や収支決算報告がなされ、会員からの意見を審議し、また活動予定についても多数意見が出されました。引き続き送年会が開かれ、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、カラオケの順番がなかなか回って来ないほど盛況で楽しい時間を過ごしました。年が明けたら1月21日椿山荘で開かれる関東済州道民協会の家族同伴の新年会でお会いしましょう！と口々に約束し、閉会しました。

－ 婦人会総務部長 李 仁秀 －



懇親忘年会開かれる

2016年「懇親忘年会」が12月5日午後6時半より上野パークサイドホテルにて開かれ、高 琰鉉顧問をはじめ顧問10名と相談役では金 秀吉相談役をはじめ6名、執行部役員14名、青年部2名、総勢32名が参加し、まず、3月8日永眠された、当協会の張 潤鍾相談役、9月16日に亡くなられた金 富鉉理事のご霊前に黙祷をささげました。

豊興株式会社

代表取締役 **金 哲 祥**

第30代 渉外部長

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-22-1-1806

TEL / FAX 03-3801-9238

四谷国際法律事務所

弁護士 **金 帝 憲**

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-4

ミツヤ四谷ビル5階

TEL 03-6457-4301 FAX 03-6457-4302

E-mail: kim@yotsuyalaw.com

焼肉 肉縁

代表取締役 **李 京 旻**

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 1-22-7

TEL 03-6457-6030

次に、顧問たちの労い言葉、金 秀吉相談役よりお言葉を頂きました。

また、2016 年度済州特別自治道文化賞に選定された 鄭 平普顧問に拍手をもって慶びを分かち合いました。1 年間を振りかえ、新年にはもっと団結し協会を活性化することを誓いながら有益な忘年会となりました。

— 会長 夫 奉秋 —

在京道民会役員合同懇親会に参加

12月4日、新宿にある韓国焼肉高麗にて「2016年在京道民会役員合同懇親会」が、在日全北道民会主催で開催されました。総勢48名が参加した中、当協会からは夫 奉秋会長、李 相訓副会長2名が参加され、他道民会役員様と意見交換しながら交流を深める楽しい時間を過ごすことができました。また来年は在日関東地区忠清道民会が幹事役に決まりました。



夢もタダ、目標もタダ 若者よ 世界に向けて進め!!

左玉花常任顧問済州大学に寄付

在日済州婦人会 左 玉花常任顧問が去る11月15日済州大学に発展基金として1億ウォンを寄付しました。伝達式でのインタビューで満面の笑顔で“済州を愛しているから、私が幼かった時は大変貧しくて勉強したくてもすることがあまりにも大変だった。基金が人材育成の基礎になることを願う。私は今年83才、精神がさらに一進一退する前に後輩の為、役に立つ事をしてあげたかった。人生の先輩として少しでも役に立てれば光栄です。”と述べられました。

また“若者たちが済州に限らず世界に向かって走っていったら良い。夢もタダ、目標もタダ。

失敗を恐れずにとにかく始めることが肝心”と学生たちに頼みました。

左常任顧問は、西帰浦市 西帰洞出身で 65 年前 17 才に渡日され、厳しい状況でも勉学に勤しんで明治大学を卒業した後、在日同胞 1 世代向けに旅行会社を立ち上げ国内・海外旅行を手伝いました。さらに 1969 年済州奨学財団へ 100 万ウォンの寄付をはじめ、2002 年には東烘洞公園に 3,600 万ウォンをかけ、高さ 8m 規模の時計塔を寄贈しました。

婦人会では 1997 年会創立発起人を務め、2009 年第 7・8 代会長を歴任し、現在常任顧問として会の発展の為、頑張っておられます。また、済州奨学財団の理事を務めています。



済友会では「第143回コンペ」を開催

去る 10 月 28 日に、茨城県板東ゴルフクラブにて 14 名参加のもと 2016 年最後となる「第 143 回済友会ゴルフコンペ」が行われました。当初 9 月 28 日の予定が変更されまして、初めての参加者もありましたが金 聖叔会員が見事に優勝を飾りました。また、一番年長者である李 大浩顧問が 2 位でベストグロースにもなりまして、若い会員達には刺激にもなりまして「もっと頑張らないと」と思いました。第 144 回コンペは 3 月 22 日に霞ヶ浦国際ゴルフコースにて行われます。理事・会員皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

宜しくお願いいたします。

(渉外次長 金 聖宗)



優勝：金 聖叔



準優勝：李 大浩



三位：高 英範

～青年部だより～



初めまして。青年部長代理の金児盛と申します。

益々、会員も増えて毎回の定例会も盛り上がっております。

11月の定例会には16人が参加し、1次会では踊りながら蟹を食べる異様な体験をしたり、2次会ではワインソムリエ講師の先輩からレクチャを受けながらワインを堪能しました。同じく11月の協会親睦旅行には僕を含め5人が参加し、楽しい時間を過ごす事が出来ました。いつ行っても美しい島であり、絶品な食事の数々、来年にはさらに多くのメンバで故郷を訪ね、その魅力を感じさせたいと思いました。11月30日にはちょっと早めの忘年会を開催し、総30人が参加して頂きました。朝まで大いに盛り上がる会員を見ながらさすが済州人と感心しております。1月21日の協会新年会・成人式では青年部も参加させて頂き、行事の準備や進行を手伝う事が出来ました。何より未来の青年部候補である6人の新成人との交流を深めた事はとても嬉しい事でした。

口コミや知り合いを通して、新しく参加してくれる方も確実に増えており、これから新しい活動も多様に検討しております。現在の会員の中には若手ながら立派な会社の経営者から各種専門職まで多様なメンバーが在籍しており、青年部から新しいネットワークやビジネスの相談まで対応可能であります。協会からの支援もあり、各イベントの参加費も若手会員の場合は2000円を越える事はありません。普段の日本社会では感じる事が出来ない、同郷で結ばれた連帯感はさらなるシナジー効果を生み出す事でしょう。今後も青年部は新規参加者を増やしていきながら、参加してくれた皆が楽しいと思えるような活動を継続していきたいと思います。

協会ニュースをご覧になっている皆さまの中で、ご子息ご息女ご親戚を青年部へ参加させてみたいとお考えになっている方がおられましたら、下記の連絡先まで気軽にお問い合わせください。



<お問い合わせ>

青年部長代理 金 児盛

E-mail: mongseng@gmail.com

TEL 090-4132-2448



道民協会便り

新規理事・会員のご紹介

当道民協会の運営行事にご賛同頂きました新規理事・会員の皆様です。

今後とも、会員相互の親睦、相互協調を深めて参りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

これからも会員のご紹介並びにご入会をお待ち申し上げます。

● 新規理事：（荒川区）玄 昌寿・尹 京福、（足立区）金 昌浩



→ 詳しくは当協会事務局までお問合せください。

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-19-5

TEL 03-3832-4411・5077 FAX 03-3832-5078

<http://www.jejudomin.org>

冠 婚 葬 祭

※ 金 富鉉理事が病氣療養中のところ 9 月 16 日永眠され、19 日港区南青山梅窓院にてお通夜と翌日告別式が営まれました。（享年 89 才）

※ 李 國玄会員のご母堂張 惟淑（宮本えい子）女史が永眠され、10 月 11 日千葉県旭市内葬儀場にてお通夜と翌日告別式が営まれました。（享年 99 才）

济州海女文化が世界遺産に登録

さる 11 月 30 日、エチオピア アディスアババで開かれたユネスコ無形文化遺産保護協約政府間委員会議で「済州の海女文化」のユネスコ無形文化遺産登録が正式に決定されました。これで韓国国内無形文化遺産は 19 件になりました。

「済州の海女文化」には漁だけでなく、海の女神に漁の安全などを祈る儀式「チャムス（潜水）グッ」、船の上で歌う海女の歌なども含まれており、母から娘に、姑から嫁に世代を越えて伝えられる「女性の役割」、済州島地域の独特な文化を象徴し、海洋環境を保護する自然にやさしい漁法、という点が高く評価されこの度登録に至りました。



日 帰 り 旅 行 へ お 誘 い

日頃は当協会が推進する諸般事業に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、会員の皆様と過ごす『日帰り旅行』を企画致しております。

ご家族と共に楽しいひと時を過ごしませんか？ お誘い合わせのうえ、是非ご参加頂きますよう役員一同、心よりお待ちしております。

◇ 日程など詳細については追ってご案内致します。

※ お引越しの際には新しい連絡先を事務局宛にご一報願います。

